

平成27年6月

手押しポンプの水のがしやがしや朝の蝉
蝉の木にとりつく蝉の姿勢良し
その針を失してしまひ時計草
未だ描きをはらぬうちに虹失せる
打水のわずかの残り足洗ふ
より低いところへと急ぐ打水や
恐竜のごとく首振り黒蜥蜴
虐殺も俳句の季語ぞ毛虫焼く
ネクタイは無用の長物更衣
風によろけし噴水の飛沫かな